



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月2日

上場会社名 神鋼鋼線工業株式会社
 コード番号 5660 URL <http://www.shinko-wire.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河瀬 昌博
 問合せ先責任者 (役職名) 総務本部副本部長兼総務部長 (氏名) 朝見 弘志
 四半期報告書提出予定日 2019年8月2日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6411-1051

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	7,051	0.4	30		39		32	
2019年3月期第1四半期	7,020	3.3	46	70.6	6		19	

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 61百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 14百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	5.55	
2019年3月期第1四半期	3.47	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	39,522	19,328	48.9
2019年3月期	40,687	19,507	47.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 19,328百万円 2019年3月期 19,507百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		20.00		20.00	40.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		20.00		30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,800	4.7	360	78.1	340	696.5	240	699.5	40.59
通期	30,000	4.0	950	55.5	900	61.1	650		109.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	5,912,999 株	2019年3月期	5,912,999 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	872 株	2019年3月期	872 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	5,912,127 株	2019年3月期1Q	5,735,038 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来予測情報の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種経済政策の効果を背景とした企業収益や雇用環境の改善により緩やかな回復基調で推移しております。一方海外経済は、通商問題の動向、金融資本市場の変動の影響等、不透明な状況が見込まれます。

このような状況のなか、当社グループは、販売拡大および売上構成の改善を図るとともに、徹底したコスト削減や販売価格是正の浸透に努めたものの、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,051百万円と前年同期に比べ31百万円の増加となり、営業損失は30百万円（前年同期は46百万円の利益）、経常損失は39百万円（前年同期は6百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は32百万円（前年同期は19百万円の損失）となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント毎の経営成績は次のとおりです。

<特殊鋼線関連事業>

(P C関連製品) 公共事業関連では、新設橋梁の減少や工事進捗の遅れの発生など厳しい状況が続く中、堅調に案件を受注し、販売数量・売上高ともに前年同期比で増加となりました。民間事業関連では、プロジェクト案件の受注や労務不足を背景に工場製造のプレキャスト製品が増加したことにより、販売数量・売上高ともに前年同期比で増加となりました。P C関連製品全体としては、販売数量・売上高とも前年同期比で増加となりました。

(ばね・特殊線関連製品) 自動車向けの弁ばね用鋼線（オイルテンパー線）は、国内及び海外向けの減少により、前年同期に比べ販売数量・売上高ともに減少しました。ばね用ニッケルめっき鋼線は、主要な需要分野であるプリンター分野において海外向けの需要が減少したことに加え、海外向け非プリンター分野も減少したため、前年同期に比べ販売数量・売上高ともに微減となりました。亜鉛めっき鋼線は、案件数増加により、前年同期に比べ販売数量・売上高は微増となりました。ステンレス鋼線は、主要な需要分野である自動車分野以外での需要が減少したため、前年同期に比べ販売数量・売上高とも減少しました。

その結果、特殊鋼線関連事業全体の売上高は4,020百万円と前年同期に比べ219百万円増加となり、セグメント利益は109百万円と前年同期に比べ1百万円の増加となりました。

<鋼索関連事業>

ワイヤロープの国内需要は、特需（ガードケーブル）はあるものの、オリンピック関連の需要が終息を迎えたことにより、前年同期に比べ減少となりました。そのため、国内向け販売は、前年同期に比べ販売数量・売上高ともに、減少となりました。輸出については、主力のエレベータ向け製品における主要ユーザーの現地調達化の動きが強まったものの、港湾クレーン向け製品は堅調に推移したことにより、前年同期に比べ販売数量は前年並、売上高は増加となりました。

その結果、鋼索関連事業全体の売上高は2,840百万円と前年同期に比べ6百万円増加となり、セグメント損失は33百万円（前年同期は38百万円の損失）となりました。

<エンジニアリング関連事業>

土木・橋梁分野では、受注案件の納入が下期に集中していることにより、前年同期に比べ売上高は減少となりました。交通・環境・施設向け製品の売上高は、案件数の減少により、前年同期に比べ減少となりました。建築向け製品においては、建築及び耐震補強ケーブルの案件増加により、前年同期に比べ売上高は増加となりました。

その結果、エンジニアリング関連事業全体の売上高は174百万円と前年同期に比べ195百万円減少となり、セグメント損失は119百万円（前年同期は35百万円の損失）となりました。

<その他>

不動産関連事業の売上高、セグメント利益はそれぞれ16百万円、12百万円と前年同期並みとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末との比較において、次のとおりとなりました。

総資産は、1,164百万円減少の39,522百万円となりました。これは主として現金及び預金の減少によるものです。

負債は、985百万円減少の20,194百万円となりました。これは主として賞与引当金の減少、長期借入金の減少、支払手形及び買掛金の減少によるものです。

純資産は、179百万円減少の19,328百万円となりました。これは主として利益剰余金の減少によるものです。また、自己資本比率は48.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の第2四半期累計期間および通期の業績予想につきましては、2019年5月9日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,169	4,152
受取手形及び売掛金	5,005	4,707
電子記録債権	2,144	2,201
商品及び製品	3,640	3,621
仕掛品	3,247	3,462
原材料及び貯蔵品	1,588	1,454
その他	1,085	1,093
流動資産合計	21,882	20,693
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,019	2,970
機械装置及び運搬具（純額）	5,313	5,438
工具、器具及び備品（純額）	161	150
土地	5,774	5,774
リース資産（純額）	3	2
建設仮勘定	109	86
有形固定資産合計	14,381	14,423
無形固定資産	305	294
投資その他の資産		
投資有価証券	1,615	1,575
退職給付に係る資産	1,107	1,123
繰延税金資産	1,214	1,236
その他	206	202
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	4,118	4,111
固定資産合計	18,805	18,829
資産合計	40,687	39,522

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,849	2,632
短期借入金	4,789	4,783
リース債務	2	1
1年内償還予定の社債	215	215
未払費用	1,274	1,131
未払法人税等	103	37
賞与引当金	594	224
設備関係支払手形	20	31
その他	636	748
流動負債合計	10,485	9,806
固定負債		
社債	1,837	1,730
長期借入金	4,280	3,997
リース債務	4	3
役員退職慰労引当金	7	5
環境対策引当金	14	14
退職給付に係る負債	4,459	4,541
その他	90	95
固定負債合計	10,694	10,387
負債合計	21,179	20,194
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,062	8,062
資本剰余金	8,171	8,171
利益剰余金	2,789	2,638
自己株式	△1	△1
株主資本合計	19,022	18,871
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	230	202
為替換算調整勘定	137	141
退職給付に係る調整累計額	117	113
その他の包括利益累計額合計	485	456
純資産合計	19,507	19,328
負債純資産合計	40,687	39,522

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	7,020	7,051
売上原価	5,779	5,877
売上総利益	1,240	1,174
販売費及び一般管理費	1,194	1,205
営業利益又は営業損失(△)	46	△30
営業外収益		
受取利息	10	13
受取配当金	25	32
持分法による投資利益	5	—
固定資産賃貸料	10	10
その他	7	2
営業外収益合計	59	57
営業外費用		
支払利息	14	11
持分法による投資損失	—	2
出向者負担金	17	19
固定資産廃棄損	25	0
その他	55	31
営業外費用合計	112	67
経常損失(△)	△6	△39
税金等調整前四半期純損失(△)	△6	△39
法人税、住民税及び事業税	20	0
法人税等調整額	△7	△7
法人税等合計	12	△6
四半期純損失(△)	△19	△32
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△19	△32

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△19	△32
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	△27
為替換算調整勘定	△0	0
退職給付に係る調整額	0	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	3
その他の包括利益合計	5	△28
四半期包括利益	△14	△61
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△14	△61

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,801	2,833	369	7,004	16	7,020	—	7,020
セグメント間の内部売上高 又は振替高	103	88	0	192	—	192	△192	—
計	3,904	2,922	370	7,196	16	7,212	△192	7,020
セグメント損益	108	△38	△35	33	12	46	—	46

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,020	2,840	174	7,035	16	7,051	—	7,051
セグメント間の内部売上高 又は振替高	92	39	0	132	—	132	△132	—
計	4,112	2,880	175	7,167	16	7,184	△132	7,051
セグメント損益	109	△33	△119	△43	12	△30	—	△30

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損失であります。